

大きくはばたけ若木たち

～102名が出席して成人式～



本年度の岩室村成人式が去る八月十五日、公民館で行われました。隣接して体育館が完成したこともあって、早目に受付を済ませ、施設を見学したり、久しぶりの対面をなつかしんだりする姿がめだち、式典が始まると「成人になったんだ」という実感がこみ上げてくるんじゃないか。——本当におめでとー。これからは、明るい村づくりの一翼を担ってほしいと思います。——と金子村長のお祝いの言葉に、感慨深そうに聞入っていました。

▲村民憲章を朗読する新成人

夏休みの一日を勤労奉仕

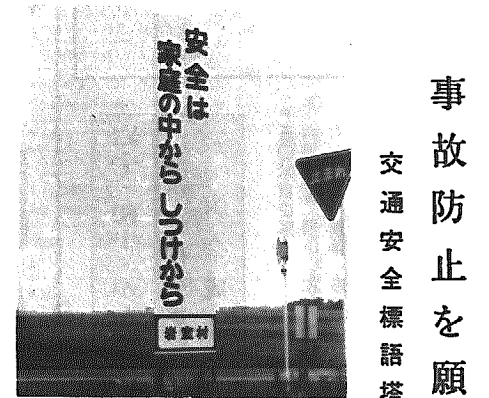
～岩中あすなろ会（生徒会）～

八月十一日、お盆を前に、岩中生徒会では、自発的に登校日を定め、岩室、和納地区を九つの区域に分け美化活動を行いました。日頃お世話になっている地域を少しでもきれいにしてお盆を迎えようというのがその主旨で、主に空きたん、紙屑類を中心に拾い集めました。汗びっしょりになって、がんばってくれた岩中生徒会のみなさんありがとう。

拾った空き缶をしまつする岩中生徒会のみなさん



むらのわだい 村の話題 ムラノワダイ

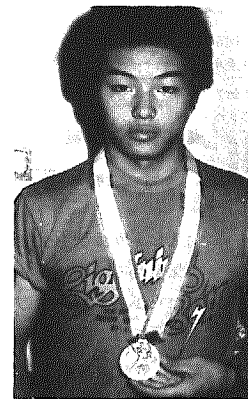


事故防止を願って 交通安全標語塔を設置

チョットの油断や気のゆるみによる交通事故が増えています。そこで村では、そんな心のスキを打ち払ってからおと、この程、西長島地区の県道と村道の交差するT字路に標語塔を設置しました。この交通安全標語塔は、運転者、歩行者、家庭内の標語が揮毫されています。交通安全、みんなで実践したいものです。設置された標語塔 いつも心をひきしめて・安全運転・安全歩行を

全国高校総体

小林昭二君（和納六区 蕪工業高二）が 自転車スクラッチ種目で優勝



メダルを胸に喜びの小林君

先月、神奈川県を主会場として行われた。全国高等学校総合体育大会で、新潟県を代表して自転車競技に出場した本村の小林昭二君（和納六区）が、自転車スクラッチ種目で優勝しました。小林さん宅は、兄の政春さんもプロ選手として活躍しています。まだ二年生ですから、もっと練習し来年もがんばります。と喜びを話す昭二君でした。

敬老会のお知らせ

みんなそろって 元気な顔で出席下さい

長寿を祝福し今年も現代の基礎を築いてくださった諸先輩をお迎えて、敬意を表したいと、次の催しを計画いたしました。

今年は村民体育館の完成により間瀬地区のみなさんも一緒に実施いたしますことになりましたのでお誘い合せの上ご来場ください。

期 日 9月27日（日）
会 場 岩室村民体育館

第1回農業祭

農業をめぐる諸情勢は厳しいものがあります。そんななかで、とかく沈みがちな心を、みんなの力を結集して、農業の振興をはかろうと、この程、村と岩室、和納農協共催で、第1回農業祭を開催することになりました。

当日は、農林産物展示即売会や農業機械の展示会など多彩な催しを計画しています。

期 日 11月14～15日（2日間）
場 所 公民館及び村民体育館
内 容 講演会、農林産物展示即売会、農業機械展示会

- 稲わらを焼かず肥やそう土づくり
- 稲わらを土にかえして豊かな実り

自転車利用者講習会

自転車利用者を対象にして、自転車安全運転講習会が開れます。

多数の方々の受講をおねがいます。
と き 9月20日（日）午前9時
場 所 岩室村役場脇体育館
内 容 ・交通安全講話 ・交通安全映画 ・自転車の正しい乗り方（実技指導）

月岡良夫さん（和納三区）が県大会四位に

～建築技能向上 競技大会～

先ほど高田職業訓練校で行われた、建築技能大会県大会は、各郡、地区大会を経て、選ばれた代表選手によって技を競い合いました。この大会に、岩室建築組合からは、下越大会に入賞した和納二区の月岡良夫さんが出場しました。月岡さんは、日頃の訓練の成果を存分に発揮、期待に答えて、四方転びの部門で、第四位入賞を果しました。昨年につづく入賞に、組合長さんはじめ関係者は喜んでいました。

善意

ありがとうございます

◎和納三区の坂下恵一さんから（父照一七月三十一日没）のご冥福を祈られて社会福祉のために役立ててほしいと金拾万円の寄付がありました。

暮らしの健康

母子の健康を考えよう ～赤ちゃんの食事～

離乳食は、いつから始めたらいいのかしらと、お母さん迷っていませんか。迷うことは決してありません。赤ちゃんの発育は、それぞれ異なるのですから、何ヶ月に離乳を必ず始めなければならないという理由は、ひとつもないのです。

赤ちゃんが、ミルクアレルギーであるとか、母乳の出が悪い時には、離乳に早めに入ってもよいのです。要は、お母さんは、他の赤ちゃんと比較しないで、ゆったりとした心を持ててほしいのです。

▲離乳の必要なわけ

① いままで吸うことしか知らなかった赤ちゃんにそしゃくすることを教えて、固形食を食べる能力をつけてやらなければならぬからです。② 五ヶ月をすぎると、お乳だけでは栄養がまかなえなくなるからです。③ いろいろな味を覚えさせて、味覚を発達させる必要があるからです。

準備に入り。また五ヶ月に入ったら、赤ちゃんの方で、家族の人が何かを食べていると欲しそうになり、自然と食べ物を探るようになります。そんな時、離乳を始めればよいのです。

① 離乳のすすめ方のポイント
① 離乳を始める準備として三、四ヶ月になると果汁や野菜スープを与えます。これは、乳以外のものにならすということ、スプーンにならすために重要な時期なのです。

② 食品の調理はやわらかいものから、だんだんかたいものへとかえていきます。初期は、ドロドロベタベタした状態のもの、中期はとうふやマッシュなど、いちおう形はあるが、簡単につぶれる半固つぶれるかたさのもの、とすすめてください。

③ 食事の量はだんだん増やします。とにかく自信をもって離乳食を与えましょう。▲文責 保健課

農業機械は正しく使って安全に

秋の農作業事故防止 運動実施中